

令和3年度 盲ろう者向け通訳・介助員養成講座 カリキュラム(案)

日時		時間	内容	教科名	目的	内 容	会場		
1	12月11日	土	10～12	2	公開講座 盲ろう者概論 盲ろう者コミュニケーション論	盲ろう者の障害の状態や程度、コミュニケーション方法の種類、生活状況等を知り、盲ろう者の現状を理解する	盲ろう者の障害の状態や程度、コミュニケーション方法の種類、生活状況等を知り、盲ろう者の現状を理解する	県総合福祉センター 403研修室	
			13～16	2	体験	盲ろう者疑似体験			視覚と聴覚の両方を遮断して行動する体験を通して、その状態・心理面の共感的理解を図るとともに、盲ろう者の支援ニーズや接する際のマナーを理解する
				1	講義	盲ろうコミュニケーション技術と留意点			通訳・介助の実際を知る
2	12月18日	土	10～12	2	講義	盲ろうコミュニケーション技術と留意点	通訳・介助の実際を知る	各種コミュニケーション方法と留意点(触手話、弱視手話、指点字、手書き文字、音声、プリスタ等)の体験実習(触手話、弱視手話、指点字、手書き文字、音声、プリスタ等)と留意点	県総合福祉センター 視聴覚室
			13～16	3	実習	盲ろうコミュニケーション実習	盲ろう者向け通訳・介助員としての盲ろう者への関わり方を理解する		
3	1月8日	土	10～12	2	実習	盲ろうコミュニケーション実習	盲ろう者向け通訳・介助員としての盲ろう者への関わり方を理解する	各種コミュニケーション方法と留意点(触手話、弱視手話、指点字、手書き文字、音声、プリスタ等)の体験実習	県総合福祉センター 402研修室
			13～16	3	講義	盲ろうコミュニケーション技術と留意点	通訳・介助の実際を知る		
4	1月15日	土	10～12	2	講義	視覚・聴覚障害の理解	視覚や聴覚障害の状態・程度による見え方、聞こえ方の違いを理解し、それぞれに応じた支援の基本姿勢を理解する	各種コミュニケーション方法と留意点(触手話、弱視手話、指点字、手書き文字、音声、プリスタ等)の体験実習	県総合福祉センター 403研修室
			13～16	3	演習	盲ろうコミュニケーション実習	盲ろう者向け通訳・介助員としての盲ろう者への関わり方を理解する		
5	1月22日	土	10～12	2	講義	盲ろう通訳技術の基本	盲ろう者が主体的に自己決定できるようにするため、情報伝達の技術を理解する	各種コミュニケーション方法と留意点(触手話、弱視手話、指点字、手書き文字、音声、プリスタ等)の体験実習	県総合福祉センター 403研修室
			13～16	3	講義	盲ろうコミュニケーション実習	盲ろう者が主体的に自己決定できるようにするため、情報伝達の技術を理解する		
6	1月29日	土	10～12	2	講義	盲ろう者の日常生活とニーズ	通訳・介助の実際を知る	各種コミュニケーション方法と留意点(触手話、弱視手話、指点字、手書き文字、音声、プリスタ等)の体験実習	県総合福祉センター 403研修室
			13～16	3	講義	盲ろうコミュニケーション実習	盲ろう者が主体的に自己決定できるようにするため、情報伝達の技術を理解する		
7	2月5日	土	10～12	2	講義	盲ろうコミュニケーション技術と留意点	通訳・介助の実際を知る	各種コミュニケーション方法と留意点(触手話、弱視手話、指点字、手書き文字、音声、プリスタ等)の体験実習(触手話、弱視手話、指点字、手書き文字、音声、プリスタ等)と留意点	県総合福祉センター 403研修室
			13～15	2	実習	移動介助実習 I	基本的な移動介助を安心・安全に行う事ができる技術を習得する。		
8	2月12日	土	10～12	2	講義	通訳・介助員の心構えと倫理	盲ろう者向け通訳・介助員としての盲ろう者へのかかわり方	各種コミュニケーション方法と留意点(触手話、弱視手話、指点字、手書き文字、音声、プリスタ等)の体験実習	県総合福祉センター 501教室
			13～15	2	実習	通訳・介助実習 I	基本的な通訳・介助の技術を習得する。		
9	2月19日	土	10～12	2	実習	通訳・介助実習 I	基本的な通訳・介助の技術を習得する。	各種コミュニケーション方法と留意点(触手話、弱視手話、指点字、手書き文字、音声、プリスタ等)の体験実習	県総合福祉センター 403研修室
			13～15	2	講義	通訳・介助員派遣事業と通訳・介助員の業務	盲ろう者旨通訳・介助員派遣事業の運用の仕組みやルールについて理解する。		
			42						

※都合により、内容や会場を変更することがあります。